

ようこそ袋井市へ アイランドオリンピックチームの事前キャンプが始まる

東京2020オリンピック・大会に出場するアイランド選手団の事前キャンプが7月5日から始まり、第1陣としてキャンプマネージャーやチームドクターなどのスタッフが宿泊地の葛城ホテル北の丸に到着しました。

8月3日までの期間中、陸上やボート、柔道などの9種目の選手やスタッフ約120人が順次袋井入りし、エコパスタジアムやエコパサブアリーナなどで本番に向けた調整を行います。



歓迎の横断幕に手を振りながら宿舎に向かうアイランドチームのスタッフ



7月9日の宵祭(ほいまつり)法要の様子

縁日の夜 境内に揺らめく灯籠の明かり

7月9日と10日、法多山尊永寺で万灯祭が行われ、浴衣姿の参拝客や家族連れなどでにぎわいました。

万灯祭は同寺で本尊・厄除観世音菩薩の縁日と伝わる7月10日とその前日に行われているもので、特に10日の参拝は一年で最も御利益が得られるとされています。本堂前や石段に置かれたたくさんの灯籠に明かりが灯ると、訪れた皆さんはその幻想的な明かりに魅せられていました。



本堂前に並ぶ灯籠の明かり

涼しげな海中の様子を卓上に 私だけのミニ水族館

7月10日、浅羽東コミュニティセンターでテーブルアクアリウム講座が開催されました。

魚やクラゲなどのシールを貼った透明シートと海藻などに見立てたプリザーブドフラワーを使い、ボトルの中で小さなアクアリウム(水生生物を飼育する水槽や水族館のこと)

を再現するもので、参加した皆さんは思い思いの素材を選んだり、レイアウトを工夫したりして、自分だけの特別なアクアリウム作りに挑戦。初心者の方も経験者の方も、その出来栄えに「大満足!」の声を上げていました。



素材の配置が重要?



リボンを付けて出来上がり



とってもきれい!

ふくろい日記帳に掲載している以外の出来事は、市の公式ブログや各種SNSでご覧いただけます！ ぜひアクセスしてみてください！



公式ブログ



Instagram



Twitter



東京2020オリンピック聖火リレー開催 表紙

6月23日、福島県を3月25日に出発して全国各地を巡っている東京2020オリンピック聖火リレーが袋井市に到着し、本市や静岡県ゆかりのランナーなどが聖火をつなぎました。

市内でのリレーコースは、愛野こども園前からエコパスタジアム・メインスタンドまでの約1.7キロメートルの道のりで、エコパでは遠州袋井太鼓保存会と袋井南マーチングバンド「サウスウインズ」の皆さんが演奏で雰囲気を盛り上げ、袋井市からは市民ランナーとして堀本嘉彦さん(東同笠)と高橋俊明さん(三沢)が第1走者、第7走者を務めたほか、スタジアム内ではフィギュアスケート金メダリストの荒川静香さんやサッカー元日本代表の中山雅史さん、ももいろクローバーZの百田夏菜子さんらがトーチを掲げて走り抜け、スタンドで見送る約1,700人の観客を沸かせました。

